



開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

たきざわ市議会だより

第29号

令和元年 11月15日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広報常任委員会

市民議会「U22学生編」参加者募集

日時：令和2年2月2日（日）午前9時～12時

場所：滝沢市役所 4階 議場

対象：市内にお住いの中学生、高校生、大学生

募集人数：10組程度、先着順。

申し込み：令和元年12月13日（金）までに、議会事務局へご連絡ください。

※開催要項等詳しくは、ホームページをご覧ください。



テーマ

滝沢市への思い

—若者が住み続けたいくなる滝沢へ—

平成30年度 決算審査報告

② 一般会計歳入審査

質疑及び答弁の内容の一部を紹介します。

問 現年課税分（市民税・個人分）の前年対比の増収の要因は。

答 納税義務者の増、給与収入等の所得割の伸び、収納率の伸び等が大きき要因です。

問 市税（個人分）の不納欠損額の減の要因と、収納政策での成果と課題は。

答 市民税1件と県民税を合わせて6千円、外国籍者の転出、軽自動車課税者の不明などによる不納欠損がありました。

問 収納政策の評価は、金融機関での納付環境の改善が図られたことと職員

の技術向上を図ったことによりです。今後も迅速な対応をします。

問 軽自動車税の収納率低下の要因は。

答 廃車手続き、名義変更、車両の不明などが低下の要因です。

問 軽自動車税の増収の要因は。

答 登録台数の変動は小さいですが、軽貨物車両が減少し、乗用車が増加したためです。

問 たばこ税の減収の要因は。

答 販売本数が前年比の5%ほどの減少のため減収となっています。昨年10月の料金改定が影響しました。

問 寄附金（一般寄付金）ふるさと納税の減収の要因と使途の配分傾向は。

答 29年度は500万の一般寄付があり、30年度は無かったためです。さらに30年度のふるさと納税が約1500万円減少しました。

問 使途の目的は「自然環境の保全」が全体の4割と多くなっています。

問 学校給食費の収納率は、コンビニ納付制度と学校の仲介協力が大きい

です。

問 現年分の収納率が99.28%と昨年度から横ばい

となっています。

問 産直・物販・レストランの売上増が今後の課題

です。レストランは伸びていますので産直・物販

への注力が必要です。今後は、関係各課と連携し生産者の声を活かし改善します。

問 たきざわキッチンのレストランメニューの改善は。

答 運営委員会を通じて、積極的に協力します。

問 運営委員会を通じた「自治公民館整備事業補助金」の実績は。

答 各地域からの要望に沿って2地域ずつ実施しています。

問 各地区的集会所の老朽化

答 ハード面では、約150灯の防犯灯、7件のカーブミラーの修繕実績です。点検も月1回実施しています。

問 防犯灯など児童生徒の安全な通学路への対応策は。

答 ハード面では、約150灯の防犯灯、7件のカーブミラーの修繕実績です。点検も月1回実施しています。

問 自治会の規模による補助金の違いで改修が難しい集会所への対応は。

答 町内会単位の小さな集会所は、補助金を交付しても残りの金額の捻出が難しいことも把握しています。

問 項目・補助率の要綱も平成初期のもので、見直しが必要です。

問 「健康づくり宣言」の地域指定の効果は。

答 自治会によるウォーキングマップ作成やウォーキング教室、早寝早起きの取り組みが見られ、がん検診受診増などの健康意識の上昇につながっています。

問 予防接種事業の接種率、接種者数減の対策は。

答 減少の理由には接種前の体調不良、親の考え等があげられますが、大きな要因は出生数の減少です。

問 放課後児童クラブでの待機児童解消と運営関係課と情報を共有し、

問 胃がん、大腸がん及び前立腺がん等の受診率減少の要因は。

答 多忙であることや、勤務先での受診による働き世代の受診率の低さが要因です。

問 基本健康診査の受診者数、受診率の減少要因と今後の対策は。

答 要因は、手続きに行けない、既に受診している、申請内容がよくわからないなどによるものでした。

問 一人ひとりの事情が違うため未受診者の把握を強化していきます。

問 認定保育園の設置や、定員増の協力を得て進めています。

問 子ども・子育て支援の一時預かりの利用者の減少（1745人↓773人）と保育所待機児童の解消との関係は。

答 29年度と比較して30年度は55人の保育所の定員増で、入所する児童が増えたために、一時預かりが減少しました。

問 福祉バスの利用者減少の要因は。

答 睡大学の学生の利用率が減少したためです。

問 患者輸送バスの利用者減少の要因は。また、交通政策関係課と共有した成果は。

答 減少の要因は自家用車利用の増等の社会情勢の変化によるものです。

総務教育分野



問 防犯灯など児童生徒の安全な通学路への対応策は。

答 ハード面では、約150灯の防犯灯、7件のカーブミラーの修繕実績です。点検も月1回実施しています。

問 自治会の規模による補助金の違いで改修が難しい集会所への対応は。

答 町内会単位の小さな集会所は、補助金を交付しても残りの金額の捻出が難しいことも把握しています。

環境厚生分野

問 健康づくり

問 子育て支援

問 高齢者移動手段の確保

問 ごみ減量化及びごみ処理負担金

